

第5学年 国語科学習指導案

日時 平成17年10月14日(金) 5校時
児童 男13名 女15名 計28名
指導者 佐々木 伸

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
教材名 「ニュース番組作りの現場から」 清水 建宇

2 単元について

(1) 児童観

今年度4月に実施したNRTの学力検査では、国語の「読むこと」は全国正答率が53.1%に対して、学年正答率は58.2%と全国比は110であった。特徴として、男女差が大きく、男子が47.8%に対して女子が67.3%の正答率であった。説明文の読み取りにおいては、「叙述内容に即して読むこと」「内容を要約すること」「段落の関係を理解して読むこと」を苦手としている。

一学期の説明文「サクラソウとトラマルハナバチ」では、文章構成や文末表現などに着目させながら、筆者の意見をおさえ自分の考えをまとめてきた。また、問題提起・問題の解明・まとめという文章構成を把握させながら学習を進めてきた。その結果、段落相互の関係を考えて文章を正しく読み取る力が少しずつ身に付いてきた。しかしながら、教材文全体の要旨を的確にまとめる力はまだ不十分である。

また、子どもたちは社会科や総合的な学習の時間などでの調べ学習に高い関心を持っているが、多くの子どもたちは情報を精選することを苦手とし、自分に必要な情報は何かを把握できないまま作業を進めていることが少なくない。

そこで本単元においては、ニュース番組の「特集」の作り方から各過程でそれぞれの要点をまとめていくことで、まとめの段階での教材文全体の要旨をまとめる力へと発展させていきたい。また、「情報を編集する」ことで情報活用力を育てるとともに、メディアリテラシーについても触れながら、自分にとって必要な情報と不必要な情報とを見極める力を身に付けさせていきたい。

(2) 教材観

第5学年及び第6学年の「読むこと」の指導目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」である。また、本教材の指導事項は「番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いや努力を読むこと」「自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序に従って段落毎に読むこと」である。

本教材は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた文章である。時間に沿って、「話題を選ぶ」「取材する」「インタビューや撮影をする」「編集をする」「原稿を書く」という過程が分かりやすく整理されている。その点からも本教材は、ニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取ることができる。

前学年では「ツバメがすむ町」で段落のつながりを学習し、また「体を守る仕組み/これが『わたし』です」で筆者の考えを推測し、自分の考えをもつことを学習してきた。

子どもたちは、番組作りのスタッフになった気分で本教材を読み進めることができ、そのことで単に番組の作り方を学ぶだけではなく、その時々スタッフが留意している事柄や多くの苦労、願いなども合わせて読み取ることができる教材であると考えられる。

(3) 指導観

教材文の読みを児童にとって必要感のあるものとするためにも、しっかりと読みの構えをもたせ、目的意識を持って入れるように工夫する必要がある。そのための手立ての一つとして単元全体を通して個人カルテを活用し、読み取りを苦手としている児童への支援の方法を事前に考え、授業の中で生かしていきたいと考える。

そこで、「つかむ」段階では、まず反復Aのテストを通して、一学期の説明文「サクラソウとトラマルハナバチ」の既習事項に関連した内容（要旨をとらえる問題）の定着を確かめ、児童一人一人の実態を把握する。次に、ニュース番組の視聴経験、特に番組の中の「特集」についての話し合いを行い、実際に事前に録画しておいた報道特集番組を全員で視聴してから単元に入ることで、目的意識を持たせた読みの学習を進めていきたい。そして、単元のゴールが取材方法や紙面構成を工夫しての新聞作りであることを明らかにすることで、学習に目的意識を持たせたいと考える。ゴールを新聞作りとしたのは、学級の児童の多くが自分たちの思いや考えを文章で表現することを苦手としていることとポスターセッションでの説明を通し、調べた内容をより深くよりわかりやすく伝える力が高まっていくだろうと考えたからである。

「ふかめる」段階では、音読を通して正しく読み取る力を身に付けさせる。その際、キーワードやニュースを発信するための苦労や工夫に注意しながら、全体として筆者が言いたいことは何かをつかませる。また、学び合いの場では、自分の考えと友達の考えとを比較しながら話し合いが進められるよう指導していきたい。

「広げる」段階では、新聞作りに向けて学習を進める。6つのグループに分かれ、安渡地区の様々な出来事取材し、各班一枚の模造紙に新聞としてまとめさせる。作業に入る前に、持ち寄った新聞を通して、紙面構成や読み手を引きつける工夫について考えさせ、テレビ番組との相違点について話し合わせる。その後取材計画を立てながら編集・清書と作業を進め、完成した新聞に目を通しポスターセッションで、それぞれの作品のよさを引き出させたい。最後に反復Bを通して、本単元で培った力がどの程度到達しているのかを確認する。

3 単元目標

- (1) ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読むことができる。
(読むこと)
- (3) ニュースの「特集」が作られる過程を時間の順序に従って段階ごとに読むことができる。
(読むこと)
- (4) 編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理することができる。
(書くこと)
- (5) 集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝えることができる。
(書くこと)
- (6) 新出漢字を読み書きできるとともに、複合語の構成や意味を理解できる。
(言語事項)

4 単元の指導と評価規準(16時間扱い)

過程	時	学習活動(指導内容)	評価規準<評価方法>		
		「ニュース番組作りの現場から」	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
つかむ	1	*反復A(読イ) 「要旨をとらえる問題」に取り組む。	・既習内容を想起し問題に取り組もうとしている <プリント>	・要旨を的確にまとめている。 <プリント>	・指示語の指示内容をとらえてまとめている。 <プリント>

	2	<ul style="list-style-type: none"> ・題名想起をする。 ・範読を聞き感想を持つ。 ・学習のゴールが地域の出来事取材し新聞を作ることを知る。 ・新出漢字の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて知ったことや興味をもったことを書き、進んで発表しようとしている。 <発言・ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体を読みおおまかに内容をとらえている <ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を正しく読み書きしている。 <ノート>
ふかめる	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文全体を読み、特集が出来上がるまでの過程を表に整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれている内容を整理しながら、興味をもって読もうとしている。 <観察・感想>	<ul style="list-style-type: none"> ・特集が出来上がるまでの過程を表にまとめている。 <ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成や経過を正しくとらえている。 <ノート>
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りの過程で、大事なことや気をつけることをとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りの工夫を考えながら、興味をもって読もうとしている <観察・感想>	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りの過程で大事な点や気をつけることを正確にとらえている。 <発言・ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・主述が明確な文章でまとめている。 <発言・ノート>
	5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りのスタッフが取材しようとした2つの疑問についてとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山周辺の防災訓練について関心を持って学習しようとしている。 <観察・ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・取材結果を読み取り、これまで実施されなかった理由などをとらえている。 <発言・ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・「また」「それで」「これら」の言葉に着目しながらまとめている。 <ノート>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りの努力や願いについて話し合う。 ・教材文全体の要旨をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容をもとに進んで要約しようとしている <ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・要旨をとらえまとめている。 <発言・ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語の働きをおさえてまとめている。 <ノート>
		「工夫して発信しよう」	関心・意欲・態度	書くこと	言語事項
広げる	7	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち寄った新聞を見て、紙面構成の工夫やテレビ番組作りとの相違点を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面構成の工夫やテレビ番組との相違点について進んで話し合おうとしている <観察・ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面構成の工夫や相違点を見つけている。 <観察・ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面から構成の仕方や工夫を探しだしている。 <ノート>
	8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞作りをして伝えたい事柄を決め、取材計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に何を伝えたいのかを進んで話し合おうとしている。 <観察・企画書>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生かして企画書を書いている。 <観察・企画書>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの目的や意図に応じた構成で企画書を書いている。 <企画書>
	10 11 12 13	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書にしたがって取材をし、新聞を作る。 ・取材してきたことを編集し、清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて必要な情報を選び集めてようとしている。 <取材メモ>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文で学んだ編集の方法を生かして原稿を書いている。 <観察・新聞>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成を考えて、まとめている。 <新聞>

14 15	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを振り返る。 ・出来あがった新聞を見合い、感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫した点のよさを見つけて交流しようとしている。 <観察・ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表した新聞のよさを簡潔にまとめて書いている。 <ノート>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の発表を聞き、気付いた点をメモにとっている。 <ノート>
16	<ul style="list-style-type: none"> * 反復B（読イ） 「目的に応じた伝え方を考える問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を想起して、課題解決に取り組もうとしている。 <プリント>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過をとらえながらとらえている。 <プリント>	<ul style="list-style-type: none"> ・送り仮名や仮名遣いに気をつけて書いている。 <プリント>

5 本時の指導（5 / 16）

（1）授業の構想

キーワードをもとにしてまとめた自分の考えと友達の考えとを比べながら、書かれている内容を正しく読み取る力を身に付けさせたい。

（2）目 標（本時のねらい）

富士山周辺に住む住民たちが防災訓練を行わなかった理由と実施するようになった経緯をまとめることができる。

（3）展 開

1人学び

キーワード

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点（ 評価）<評価方法>
見 通 す 5 分	1 前時までの学習を振り返る。 2 第3・4段落を読み、筆者の考える2つの疑問を見つける。 3 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">取材のもととなった2つの疑問を考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1段落から「特集」と他のニュースの違いや番組作りに関わる人たちの仕事内容を振り返る。 ・疑問を表す「なぜ」に着目させる。 ・学習課題から、本時で何ができればよいのかを明らかにする。 学習課題がわかったか。 <観察>
ふ か め る	4 1つ目の疑問を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">なぜ、これまで訓練が行われなかったのだろう。</div> (1) 第5段落を音読する。 ・リレー読み (2) 第5段落をまとめる。 ・「住民の多くは」を主語とし、まとめを考える。 ・全体をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ目の疑問の答えが第5段落に書かれていることに気づかせる。 ・住民の危機感や観光面でのマイナスを考えて実施されなかった経緯をノートにまとめさせる。 ・全体でまとめた文をノートに記入させ、2つ目の疑問の答えを考える手立ての一つとさせる。 第5段落をまとめられたか。 <ノート>

<p>ふかめる</p> <p>35分</p>	<p>5 今日のキーワードを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「噴火」 「訓練」 「住民」</div> <p>6 2つ目の疑問を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">なぜ、訓練が行われるようになったのだろう。</div> <p>(1) 第6段落を音読する。 ・リレー読み</p> <p>(2) 一人学びで第6段落をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">キーワードを利用して、第6段落をまとめてみましょう。</div> <p>(3) 第6段落のまとめについて全体で確かめる。 ・自分の考えを発表する。 ・全体のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ目のまとめから「噴火」「訓練」「住民」の3つの言葉に着目すれば、2つ目の疑問を解明する手立てとなることに気づかせる。 ・2つ目の疑問の答えが第6段落に書かれていることに気づかせる。 ・音読の際キーワードに印をつけながら読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>△防災訓練が行われるようになった経緯をまとめることができたか。</p> <p>A 防災訓練が行われた経緯を有珠山噴火の報道と照合させながら簡潔にまとめている。 例「富士山が現在も活動中の火山であることを改めて知った住民は、有珠山噴火の報道から訓練の大切さを学び、噴火に備えた訓練することにしました。」</p> <p>B 防災訓練が行われた経緯を第6段落から抜き出して書いている。 例「富士山が現在も活動中の火山であることを改めて知った住民は、北海道の有珠山ではひなん地図と訓練の結果一人の死亡者も出さずにすんだという報道から訓練の大切さを学びました。」</p> <p>Cへの支援 富士山と有珠山周辺に住む住民の様子を比べながらまとめさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のと自分の考えを比較検討させたい。
<p>振り返る</p> <p>5分</p>	<p>7 自己評価をノートに記入し、本時の感想を発表する</p> <p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<p>積極的に学習に参加できたか。 2つの疑問の答えをまとめられたか。 友達のよさや学習の感想を書けたか。 ＜ノート＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時はニュース番組を作る人の願いを考えることを知らせる。

6 板書計画

有珠山

- ・噴火・・・活動中の火山
- ・住民・・・噴火の報道
- ・訓練・・・大切さ 決定

富士山

- ・噴火・・・長い間噴火していない
- ・住民・・・危機感なし
- ・訓練・・・観光客に不安

二つ目の疑問

なぜ、訓練が行われなかったのだろうか。

今日のキーワード 「噴火」「住民」「訓練」

二つ目の疑問

住民の多くは、富士山が長い間噴火していないことと、防災訓練をすると観光客に不安を与えてしまうのではないかと考え、これまで訓練に積極的ではなかった。

富士山が現在も活動中であることを改めて知った住民は、有珠山噴火の報道から訓練の大切さを学び、噴火に備えた訓練をすることにした。

二ニューズ番組作りの現場から 清水 建宇

取材のもととなった二つの疑問を考えよう。

一つ目の疑問

なぜ、訓練が行われなかったのだろうか。

7 自己評価カード

《学習をふりかえって》

一 一 生けんめい考えたり、せっきよくてきに発言したりすることができたか。

A よくできた B だいたいできた

C あまりできなかった D できなかった

二 防災訓練について二つの疑問の答えをまとめることができたか。

A よくできた B だいたいできた

C あまりできなかった D できなかった

三 今日の学習で見つけた友達のおさや感想を書きましょう

8 教材分析

「ニュース番組作りの現場から」	
言語事項	<p><キーワード> ニュース 番組 特集 噴火 訓練 住民 取材 編集 言葉</p> <p><指示語> それら これら この こうした それ このような</p> <p><接続語> ここでは そして さっそく まず では さらに しかし やがて</p> <p><文末表現> ~みましょう。 ~です。 ~ます。 ~でした。 ~ました。 ~ません。</p>
要 点	<p>防災訓練の様子がニュース番組の特集として取り上げられるまでは、どんな過程になっているのだろうか。</p> <p>デスクは、初めて行われる富士山でのひなん訓練は多くの人の関心と呼ぶ話題だと考え、ニュース番組の特集とすることに決めた。</p> <p>番組作りの会議が開かれ、訓練について2つの疑問を中心に取材することが決まった。</p> <p>ディレクターは、多くの人の話や資料を集め、取材内容をより正確なものとする。</p> <p>これまで富士山で訓練が行われなかったのは、長い間噴火していないことと、訓練を行うだけで観光客に不安を与えてしまうことが要因の一つであるとわかった。</p> <p>富士山が現在も活動中の火山であることを知った住民は、有珠山が噴火した時の住民のひなんの様子を報道で知り、訓練の大切さを学び、訓練をすることにした。</p> <p>取材結果をもとに2度目の会議が開かれ、中心となる内容が確かめられる。</p> <p>番組を見ている人が分かりやすいように音だけではなく映像にも工夫をこらす。</p> <p>ディレクターは、よりわかりやすく伝えるために、編集の仕方を考える。</p> <p>放送用原稿は、耳で聞いてわかりやすいように、いくつかの工夫がされている。</p> <p>番組の最後は、取材を重ねてきて最も伝えたかったことで結ぶ。</p> <p>ニュース番組を作っている人たちは、自分たちの感じた驚きや疑問を、番組を見ている人に知って考えてほしいと願いをこめて作っている。</p>
文章構成	<p>話題提示 話題選び 企画～取材 撮影～放送 まとめ</p>
筆者の思い	報道スタッフは、番組を見ている人たちに願いをこめてニュース番組を作っている。
発 展	地域の出来事取材し、紙面構成や編集の仕方を考えながら新聞作りをする。

9 個人カルテ

「ニュース番組作りの現場から」 個人カルテ

子ども像

名前

文章の構成や要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られているのかを知り、内容を伝える方法を考える。

実 態	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュース番組への関心 ・ 文章の読み取り ・ 音読（正確に大きな声で読める） ・ 漢字を書く力 ・ 文字を書くスピード ・ 作文 ・ 集中力 		
	初発の感想		
学 習 の 実 態	単元の評価規準表による 読むことにそった評価	評 価	その他
	文章構成について理解している。（反復A）	A B C	
	内容とらえて感想を書いている。	A B C	
	話題提示文をとらえている。	A B C	
	ニュース番組の特集が出来上がるまでの過程を 表にまとめている。	A B C	
	番組作りの過程で大事な点を読み取っている。	A B C	
	課題に対する答えをまとめている。	A B C	
	番組スタッフの願いや努力をまとめている。	A B C	
要旨と自分の考えをまとめている。	A B C		
単 元 終 了	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ニュース番組作りの現場から」単元テスト ・ 「目的に応じた伝え方を考える問題」（反復B） ・ 新聞作りで学習した内容を生かすことができている。 		点 点 A ・ B ・ C